未来選択実践委員会

Future Selection Implementation Committee

委員会基本方針

私たちは、先人達の創り上げてきたまちの成り立ちや、自らの周りに起こっている様々な事象を踏まえ、未来のまちの当事者として強い興味と関心を持ち、まちは自分たちが切り開く意欲を携え、未来の創造者として意志と知恵をもって判断する力を生み出します。

日　時：2月18日（金）
場　所：サンケイホールブリーゼ
参加者：計画　800名
結果　655名
U-stream　549名

政策討論会（各会派代表者による、公開討論会）

各会派代表の政策について熱く伝えて頂いたことで、多くの市民がまちの実情や事項を話し合う機会に触れる事により、理解していただきました。また、数多くの大阪市民が政策討論を聞き、比較検討できる機会に積極的に参加することにより、未来の創造者として意思と知恵をもって判断する力を養いました。
【工夫した点】各政党が公平に発言できる公開討論会を開催。また広報活動において新聞広告掲載、チラシ配布と従来の手段の他にTwitter,Facebook という最新のコミュニケーションツールを活用。

日　時：3月16日（水）～4月18日（月）
場　所：OJC／HP
参加者：計画　100,000アクセス
結果　123,435アクセス

Web 政策比較サイト

（大阪市議選挙 立候補者の Web サイト）

インターネットを多く利用する若い住民に発信することで、未来のまちの当事者として興味と関心をもってもらうことができました。サイト内をじっくり何度も確認するユーザが多く、候補者の考えを聞く場として利用された結果、未来を切り開く意欲を持ってもらうことができました。ただ、年配層の候補者は、地域密着型の選挙活動を重視するということで断られ、無所属議員、新人議員候補は他の仕事を持っていることが多く、電話、FAX、メールなど複数の手段によって連絡を取ったが、当サイトについて取り合ってもらえませんでした。
【工夫した点】1 件 1 件選挙事務所を回る地道な活動により、96 人もの候補者のデータを集めることに成功。

日　時：11月12日（土）
場　所：梅田センタービル・梅田クリスタルホール
参加者：計画　600名
結果　550名
U-stream 219アクセス
ニコニコ生放送40,579アクセス

大阪市長選挙 公開討論会

多くのメディアに取り上げてもらう事に力をいれました。また、ネット経由で同時中継することで、より多くの市民の方に見て頂けるようにし、判断する為の一助になれました。

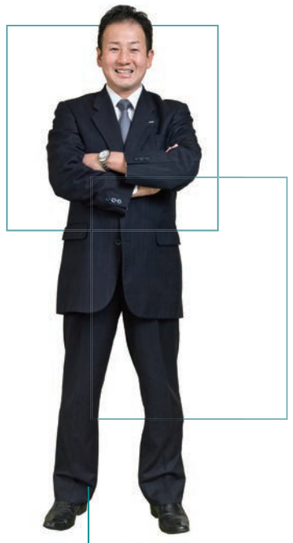
日　時：10月27日（木）～11月27日（日）
場　所：OJC／HP
参加者：計画　120,000アクセス
結果

Web 討論会（大阪市長選挙 立候補者の Web サイト）

大阪市民から約 2,000 枚のアンケートを取得し、有権者の興味のある質問を精査し、候補者にサイト内で答えて頂きました。

大阪市の今後を「判断する力」を生み出すことを使命として

本年、「凛々しいまち大阪の実現」をめざし、「判断する力を生み出す」為に、未来選択実践委員会の委員長をさせて頂きました。
昨今、「自分に直接利害がからむこと」にしか興味を持たず、社会や近隣住民に無関心であったり、人とのコミュニケーションを避けようとする人びとが増えているように思います。その傾向は特に 20 代から 40 代までの若い世代に強いことが、東日本大震災直後に行われた東京都知事選挙の投票率などにはっきりと表れています。
大阪の成り立ちは、商人や町人たちが、互いにまちの未来について意見を交わし、自分の利害にとらわれず、どのようなまちにするか、どこに橋を作るかといったテーマについて、真剣に考え、率直な意見を交わし理想的な都市「大阪」をつくりあげてきたところにあります。こうしたまちに対する熱い思いは時代の流れとともに、どんどん失われているように思います。
このような状況において、我われの使命は、大阪に住み暮らす人びとに大阪市の今後について、「判断する力」を生み出すことだと思いました。そして、そのためには、まず判断するための材料となるべき、「事実」を正確に、市民、とりわけ若い世代に伝えるとともに、その「事実」がいかに重大なものかを繰り返し伝えていくことが肝要だと認識いたしました。
インターネットの利用はもはや当たり前で、更にツイッターや SNS の利用が普及する現代、未来選択実践委員会は、インターネット・ツイッター・フェイスブックの相異なる 3 つの媒体を用いて、大阪市民に対し、大阪の成り立ちや現在抱える問題点などについて、選挙の有無にかかわらず繰り返し発信し続けました。また、大阪市議会議員選挙においては、各政党の方針を市民にわかりやすく伝えるため、大阪市長選挙では、各立候補者の方針を伝えるため、公開討論会の形式で、それぞれの意見と、その違いを市民に伝える活動を 1 年間継続しました。
私たちのまちを創るのは、私たちの民意です。皆さまの、判断の一助として頂けたと確信致しました。
最後に、本年度お世話になりました、皆様方に心より感謝と御礼を申し上げます。



委員長　臼倉 義尚
Yoshinao Usukura

STAFF

委員長	副委員長	委 員						
臼倉 義尚	大野 育生	芦田 如子	岡田 健	川又 充	高橋 顕明	二宮 彰久	藤村 一朗	門司 秀晃
幹　事	岡本 良太	石井 博司	岡田 充弘	橋高 和芳	高橋 雅史	濱田 拓矢	藤本 勝仁	山佳 誠秀
河東 猛	杉本 智則	石丸 敏正	岡田 善照	児玉 一厳	辰巳 剛史	濱野 裕司	藤原 雅之	湯浅 史高
赤代 理史	武本 俊二	植田 充泰	畠田 浩之	渋谷 元宏	樽居 賢治	東原 栄志	松本 直高	米村 栄一
寺岡 龍朗	由本 浩司	梅木 貴喜	奥 真一郎	島村 真以	徳村 聡	日吉 慶三郎	宮﨑 真典	和倉 康博
森田 哲通		遠藤 学	尾﨑 宏明	正田 智也	中西 基晴	深田 博司	村上 浩二	
		大村 雅祥	金谷 光憲	白井 達也	中野 義晃	福井 隆浩	望田 謙三	
			河田 康昌	瀬川 文武	中村 桂	福本 義人	森 晃之	